

令和7年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	技術・家庭科 技術分野
教科担当	久貝 新		
教科書名	新しい技術・家庭科 技術分野		
副 教 材	材料と加工ノート、学習用端末(iPad)		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点か3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術・家庭) 科の目標と評価について

教 科 目 標 の	(1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評 価 の 観 点 の	【知識・技能】 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 生活や社会の中から技術に関わる課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、
方 法 評 価 の	○単元テスト、提出課題の内容、製作品(知識・技能) ○単元テスト、提出課題の内容、製作品、ふりかえりシート(思考・判断・表現) ○授業への取り組み姿勢の観察、ノート記述、ふりかえりシートの内容、ノートやふりかえりシートなどの提出状況や内容(主体的に学習に取り組む態度) ☆今年度は定期テストを実施しません。授業内にて単元テストを実施します。

2 (技術・家庭) 科の学習について

進 授 め 業 方 の	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてノートに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。 ・技術室を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
テ 定 期 卜	○単元テストは全2回予定しています。 ○授業で取り組んだ内容から出題(教科書、ノート中心) ○授業内でやり取りした内容、板書内容から出題 ○教科書、ノート、各課題などしっかり見直して、材料と加工の技術に関する様々な語句や工具の使い方、作業手順を復習してください。

3 年間指導計画（その①）

10月	単元名(題材名)	生活や社会を支える材料と加工の技術①		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	使用目的や使用条件に合った製品を製作するために、材料の特性を生かした活用方法を理解している。		進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	10月、テスト時		10月	
10月	単元名(題材名)	生活や社会を支える材料と加工の技術②		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	各材料の特性を捉え、加工方法や成形方法等の技術の基礎的な仕組みについて理解している。		進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	10月、テスト時		10月	
10月	単元名(題材名)	生活や社会を支える材料と加工の技術③		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	身の回りで利用されている丈夫な構造や部材を丈夫にする方法について理解している。		進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	10月、テスト時		10月	
11月	単元名(題材名)	生活や社会を支える材料と加工の技術④		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、技術の「見方・考え方」に気付くことができる。	進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法		ワークシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面		11月	11月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

11月	単元名(題材名)	材料と加工の技術による問題の解決①		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	製作に必要な図の役割やかき方を知り、かき表すことができる。	○技術の「見方・考え方」を働かせて、問題を見だし、自分なりの課題を設定している。 ○構造の選択や成形方法などを構想し、見方・考え方を働かせて設計を具体化している。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、課題の解決に主体的に取り組もうとし、知的財産を創造するとともに、他者の意見を取り入れ、活用しようとしている。	
	評価方法	ワークシート	ワークシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	11月	11月	11月	
12.1.2月	単元名(題材名)	材料と加工の技術による問題の解決②		指導時数	15
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	○安全・適切な製作や検査・修正ができる技能を身に付けている。	製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正点を見だし見方・考え方を働かせて設計を具体化している。	進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとりふりかえりシート 製作活動シート	
	評価方法	作品 単元テスト	製作活動シート	製作活動シート	
	評価時期及び評価場面	12.1.2月、テスト時	12.1.2月	12.1.2月	
3月	単元名(題材名)	これからの材料と加工の技術		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	材料と加工の技術の概念について理解している。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。	
	評価方法	ワークシート	ワークシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	3月	3月	3月	
適時	単元名(題材名)	生物育成の技術による問題の解決		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	栽培計画に沿って安全・適切に作物の成長段階に応じて病気や害虫等の防除や作物の生育状況や品質の検査等や管理作業を行うことができる。	○栽培計画に基づいて合理的な解決作業について考え、消費者の安全に考慮して課題の解決策を具体化している。	自らの問題解決とその過程を振り返り、改善・修正しようとしている。	
	評価方法	管理作業		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	適時	適時	適時	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合があります。

令和7年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	技術・家庭科 技術分野
教科担当	久貝 新		
教科書名	新しい技術・家庭科 技術分野		
副 教 材	生物育成・エネルギー変換ノート、学習用端末(iPad)		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることにに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術・家庭)科の目標と評価について

教科 目 標	<p>(1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>(2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
評 価 の 観 点	<p>【知識・技能】 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活や社会の中から技術に関わる課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を</p>
方 評 法 価 値	<p>○単元テスト、提出課題の内容、製作品(知識・技能)</p> <p>○単元テスト、提出課題の内容、製作品、ふりかえりシート(思考・判断・表現)</p> <p>○授業への取り組み姿勢の観察、ノート記述、ふりかえりシートの内容、ノートやふりかえりシートなどの提出状況や内容(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>☆今年度は定期テストを実施しません。授業内にて単元テストを実施します。</p>

2 (技術・家庭)科の学習について

進 授 め 業 方 の	<p>・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。</p> <p>・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてノートに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。</p> <p>・技術室を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。</p>
テ ス ト 定 期	<p>○単元テストは全2回予定しています。</p> <p>○授業で取り組んだ内容から出題(教科書、ノート中心)</p> <p>○授業内でやり取りした内容、板書内容から出題</p> <p>○教科書、ノート、各課題などしっかり見直して、材料と加工の技術に関する様々な語句や工具の使い方、作業手順を復習してください。</p>

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	生物育成の技術の原理・法則と仕組み①		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	育成する生物の成長や生理・生態の特性などの原理・法則もとに、育成環境の調整方法等の生物の育成に共通する技術の基礎的な仕組みについて理解している。		進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、生物育成の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト		ふりがえりシート	
	評価時期及び評価場面	4.5月、テスト時		4.5月	
4月	単元名(題材名)	生物育成の技術の原理・法則と仕組み②		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		育成環境を調整する方法を変えるなどの生産者や開発者が計画等に込めた意図を読み取り、生物育成の技術の見方・考え方に気付いている。□	進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、生物育成の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法		ワークシート	ふりがえりシート	
	評価時期及び評価場面		5月	5月	
4・5月	単元名(題材名)	生物育成の技術による問題解決		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	栽培計画に沿って安全・適切に作物の成長段階に応じた病気や害虫等の防除や作物の生育状況や品質の検査等や管理作業を行うことができる。	栽培計画に基づいて合理的な解決作業について考え、消費者の安全に考慮して課題の解決策を具体化している。	進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、生物育成の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト	ワークシート、単元テスト	ふりがえりシート	
	評価時期及び評価場面	5月	5月、テスト時	5月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

5月	単元名(題材名)	社会の発展と生物育成の技術		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	これまでの学習と生物育成の技術が果たす役割や影響を踏まえて、生物育成の技術の概念を説明できる。	持続可能な社会の実現を目指して、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用の在り方について考えている。	適切な選択、管理・運用の在り方について生産者と開発者の両方の立場から技術の将来の展望を考え、持続可能な社会の実現に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。	
	評価方法	ワークシート	ワークシート、単元テスト	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	6月	6月	6月	
6月	単元名(題材名)	エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み①		指導時数	7
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	○電気エネルギーについての科学的な原理・法則と、エネルギー変換の技術の基礎的な仕組みを理解している。 ○電気事故を防止する方法及び定期点検の必要性について知り、日常生活において機器を安全に使用方法を理解している。	製品に込められた問題解決の工夫を読み取り、エネルギー変換の技術の見方・考え方に気付いている。	進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を活かし、生活と技術の関わりを見つけようとしている。または、エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト	ワークシート	自己評価表 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	6.7月	テスト時	6.7月	
6月	単元名(題材名)	エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み②		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	力学的エネルギーの多様な運動の変換と力の伝達方法等の基礎的なエネルギー変換の技術の仕組みとそれを支える共通部品や規格等の役割について理解している。		進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を活かし、生活と技術の関わりを見つけようとしている。または、エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	テスト時		7月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

7月	単元名(題材名)	エネルギー変換の技術による問題解決		指導時数	11
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	安全・適切に電気回路を製作し、筐体などに取り付け、製作品の動作点検及び調整等ができる。	完成した製作品が課題を解決できたかを評価し、設計や製作の過程に対する改善及び修正方法を考えている。	自らの問題解決の過程を振り返り、改善・修正しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、作品	製作ワークシート	製作ワークシート	
	評価時期及び評価場面	7.8.9月、テスト時	7.8.9月	7.8.9月	
9月	単元名(題材名)	社会の発展とエネルギー変換の技術		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	これまでの学習とエネルギー変換の技術が果たす役割や影響を踏まえて、エネルギー変換の技術の概念を説明することができる。	持続可能な社会の実現を目指して、エネルギー変換の技術の評価し、適切な選択、管理・運用の在り方や新たな発想に基づき改良、応用について考えている。	持続可能な社会の実現を目指して、エネルギー変換の技術の評価し、適切な選択、管理・運用の在り方や新たな発想に基づいた改良、応用について利用者と開発者の両方の立場から技術の将来展望について考えようとしている。	
	評価方法	ワークシート	ワークシート	ワークシート	
	評価時期及び評価場面	10月	10月	10月	
9, 10, 11月	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和7年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	技術・家庭科 技術分野
教科担当	久貝 新		
教科書名	新しい技術・家庭科 技術分野		
副教材	情報ノート、学習用端末(iPad)、ノートパソコン		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点か3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学習に向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術・家庭) 科の目標と評価について

教科の目標	(1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評価の観点	【知識・技能】 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 生活や社会の中から技術に関わる課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、
評価方法	○単元テスト、提出課題の内容、製作品(知識・技能) ○単元テスト、提出課題の内容、製作品、ふりかえりシート(思考・判断・表現) ○授業への取り組み姿勢の観察、ノート記述、ふりかえりシートの内容、ノートやふりかえりシートなどの提出状況や内容(主体的に学習に取り組む態度) ☆今年度は定期テストを実施しません。授業内にて単元テストを実施します。

2 (技術・家庭) 科の学習について

進授業方の	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてノートに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。 ・技術室を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
テスト	○単元テストは全2回予定しています。 ○授業で取り組んだ内容から出題(教科書、ノート中心) ○授業内でやり取りした内容、板書内容から出題 ○教科書、ノート、各課題などしっかり見直して、情報の技術に関する様々な語句やパソコンやiPadの使い方、作業手順を復習してください。

3 年間指導計画（その①）

4, 5月	単元名(題材名)	情報の技術の原理・法則と仕組み①		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	情報に関する科学的な原理・法則や情報のデジタル化、処理の自動化などに関わる基礎的な情報の技術の仕組みを理解している。		進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、情報の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト		ふりがえりシート	
	評価時期及び評価場面	テスト時		4.5月/8.9月	
5月	単元名(題材名)	情報の技術の原理・法則と仕組み②		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	情報通信ネットワークの仕組みや情報セキュリティ、サイバーセキュリティ等について理解し、情報に関する技術を利用する場面において適正に活用することができる。		進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、情報の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト		ふりがえりシート	
	評価時期及び評価場面	テスト時		9月	
6月	単元名(題材名)	情報の技術の原理・法則と仕組み③		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		技術の見方・考え方を働かせて、身近なシステムや自動化の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	進んで学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、情報の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法		ワークシート	ふりがえりシート	
	評価時期及び評価場面		5月/10月	5月/10月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

6月	単元名(題材名)	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決		指導時数	9
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	○基礎的なプログラムの制作ができる。 ○プログラムの処理の方法を理解し、適切なプログラムの手順を具現化することができる。	○基本プログラムを体験し、2つ以上の技術の見方・考え方を働かせ、問題点を見出して解決策を考えることができる。 ○プログラミングの手順を整理し、アクティビティ図で表現することができる。	情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見だし、自分なりの解決策を構想して粘り強く、制作に取り組もうとしている。または、活動内容を振り返り、次時の学習の見通しを立て、取り組もうとしている。	
	評価方法	単元テスト	ワークシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	テスト時	テスト時、6.7月/10.11月	6.7月/10.11月	
6,7月	単元名(題材名)	計測・制御のプログラミングによる問題解決		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	計測・制御システムの基本的な構成とプログラムの役割について理解している。		情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見だし、自分なりの解決策を構想して粘り強く、制作に取り組もうとしている。または、活動内容を振り返り、次時の学習の見通しを立て、取り組もうとしている。	
	評価方法	ワークシート		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	1.2月		1.2月	
8,9月	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。